






175号本部隊舎塔屋外壁補修工事

件名	175号本部隊舎塔屋外壁補修工事						
図面名称	表紙			仕様書番号		48	
作成年月日			令和4年12月16日		図面番号	1/3	
業務隊長	管理科長	営繕班長	木工係	施設管理主任	管財係		設計
							
所属部隊			久留米駐屯地業務隊管理科				

仕 様 書

1 件 名 : 175号本部隊倉塔屋外壁補修工事

2 場 所 : 福岡県久留米市園分町100番地 陸上自衛隊久留米駐屯地

3 概 要

- (1) 塗り仕上げ外壁改修 96.1㎡
- (2) 仮設工事 1式

4 一般事項

- (1) 本工事は本仕様書のほか、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」その他関係諸法規を遵守し、実施するものとする。
- (2) 本工事の写真は、カメラ（カラー）又はデジタルカメラを使用し、作業前・中（各工程毎）・後、隠蔽箇所及び材料・機材等、監督官の指示する箇所を撮影し、工事用アルバム（A列4番縦）に整理のうえ、監督官に1部提出すること。ネガ又はデジタルカメラの電子データは、完成検査終了後、請負業者の責任において確実に処分又は消去すること。
- (3) 施工中、他の箇所に汚損又は破損等及びした場合は、速やかに監督官に報告するとともに請負業者の責任において速やかに原状復旧するものとする。
- (4) 本工事に使用する材料は全て新品とし、監督官の検査を受け、合格したものを使用する。
- (5) 本仕様書に記載なき事項といえども施工上当然必要とされる事項については請負業者の責任において実施すること。
- (6) 作業中の安全管理には十分留意し、事故等が発生しないよう万全を期すこと。万一事故等が発生した場合は請負業者の責任において処置し、官側は一切の責任を負わないものとする。
- (7) 本仕様書及び作業に際し疑義を生じた場合は、監督官と協議した後実施する。
- (8) 本工事において使用する電気、水は請負業者が準備するものとする。やむを得ず部隊側の電気、水を使用する場合は、事前に監督官と協議した後、所要の手続きを実施し使用することが出来るが、使用に要した費用については請負業者の負担とする。
- (9) 工事受注に際しては、受注者が下請業者と工事下請負契約を締結し工事を施工完成させる場合は、監督官に施工管理体制合帳を提出し点検を受けるものとする。

5 特記事項

- (1) 外壁改修工法の種類等は下表のとおりとする。

項目	規格	工法	計画数量
ひび割れ部改修工法	クラック幅 0.3mm未満	刷り込み	10m
	クラック幅 0.3mm以上	Uカットシーリング材充填工法	5m
欠損部改修工法	0.1㎡以上0.5㎡未満	充填工法	10ヶ所
	0.07㎡程度		10ヶ所
	0.05㎡程度		10ヶ所
浮き部改修工法		充填工法	9.6㎡

- (2) ひび割れ部の措置は次による。

- ア ひび割れ部に沿って電動カッター等を用いて幅10mm程度、深さ10～15mm程度にU字型の溝を設ける。
- イ Uカット溝内部に付着している切片、ワイヤーブラシ、はけ等で除去する。
- ウ 被着体の内部に適したプライマーを溝内部に塗り残しのないよう均一に塗布する。
- エ プライマー塗布後、ごみ、ほこり等が付着した場合又は充填ができない場合は再清掃し、プライマーを再塗布する。

- (3) Uカット溝内部へのシーリング材充填は、次による。

ア シーリング材を充填する場合

- (7) シーリング材が隅々まで行きわたるようにコーキングガンのノズルをUカット溝に当て、加圧しながら空隙、打ち残しがないように充填し、へらで押え下地と密着させて表面を平滑に仕上げる。
- (4) シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルを充填する場合は、次による。
 - a シーリング材は表面から3～5mm程度低めに充填し、充填後は、へらで押え、下地と密着させて表面を落として仕上げとする。
 - b ポリマーセメントモルタルを表面に合わせて平滑に塗り込む。

イ 可とう性エポキシ樹脂を充填する場合

- (7) 可とう性エポキシ樹脂を入れたコーキングガンのノズルをUカット溝に当て充填する。充填後は、へらで押え下地と密着させて平滑に仕上げる。なお、仕上げ塗材を施工するため、可とう性エポキシ樹脂が硬化しないうちに、その表面にけい砂を散布する。
- (4) 可とう性エポキシ樹脂は、製造所の仕様により均一になるまで混練りする。

- (4) 欠損部周囲のモルタル浮き部分は、ダイヤモンドカッター等で健全部と縁を切って、損傷が拡大しないようにはつり撤去する。
- (5) 欠損部の下地表面は、デッキブラシ等で水洗いを行い、モルタル等の接着を妨げるものを取り除く。
- (6) 部分的に露出している鉄筋等がある場合、監督官と協議し、健全部が露出するまでコンクリートをはつり、ワイヤーブラシ等でケレンを行い錆を除去し、鉄筋コンクリート用防錆剤等を塗り付け、防錆処理を行う。
- (7) 充填工法は、次による。
 - ア エポキシ樹脂モルタルを充填する場合
 - (7) 欠損部の脆弱部をハンマー等で取り除き、プライマーを被着面にはけを用いて塗布する。
 - (4) エポキシ樹脂モルタルは、製造所の仕様により、均一になるまで混練りする。
 - (5) プライマーの粘着性のあるうちに、エポキシ樹脂モルタルを充填し、表面を金ごてでへ加圧しながら平滑に仕上げる。
 - (2) 仕上げ後、24時間以上養生を行う。
 - イ ポリマーセメントモルタルを充填又は塗り付ける場合
 - (7) 欠損部の脆弱部をハンマー等で取り除き、プライマーを被着面にはけを用いて塗布する。
 - (4) ポリマーセメントモルタルは、製造所の仕様により、調合し混練りする。
 - (5) はがれの状況により、1～3層に分けてポリマーセメントモルタルを充填又は塗り付ける。各層の塗り厚は7mm程度とし、表面を金ごてで加圧しながら平滑に仕上げる。
 - (2) 各層共、急激な乾燥を避け、適切な養生を行う。
- (8) 既存塗膜の除去は高圧水洗い工法とし、水圧は15hpa程度とする。
- (9) 仕上げ塗材は、JIS A 6909（建築用仕上塗材）による。
- (10) 仕上げ塗材の種類及び工法は下表のとおりとする。

種類	呼び名	工法	所要量 (kg/㎡)	塗り回数
可とう形改修用仕上塗材	可とう形改修塗材E	ローラー	主材	0.8以上
			上塗材	0.25以上

- (11) 可とう形外壁改修塗材の工法は、次による。

ア 材料の練混ぜは、仕上塗材の製造所の指定する水の量で均一に行う。ただし、溶剤系の仕上塗材の場合は専用薄め液で均一に行う。

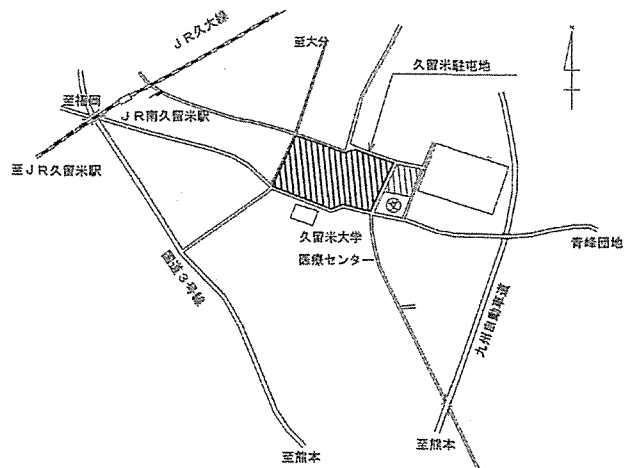
なお、2液形仕上塗材は、薄める前に基材と硬化材を仕上塗材の製造所の指定の割合で混ぜ合わせる。

イ 主材塗りは、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、所定のローラーを用いて塗り付ける。

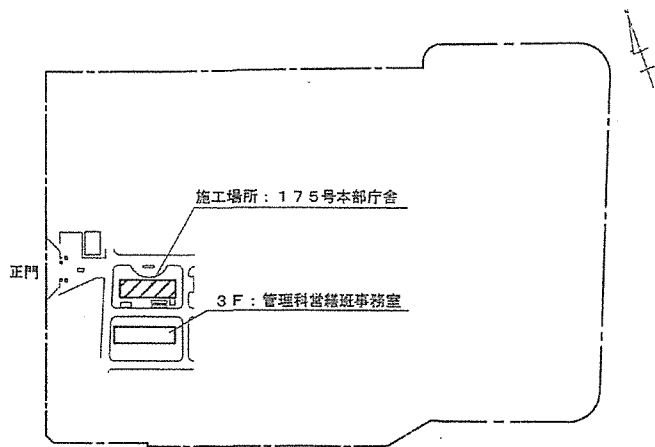
ウ 上塗りは、2回塗りとし、色むら、だれ、光沢むら等が生じないように均一に、はけ、ローラー等により塗り付ける。

- (12) 欠損部及び浮き部は補修後に既存部分との模様合わせを行う。
- (13) 開口部周囲のシーリング材は打ち換えを行うものとする。
- (14) 外部足場等の設置については、経済性、作業効率性等を考慮し決定するものとし、仮設計画を事前に提出し、監督官の承認を受けるものとする。

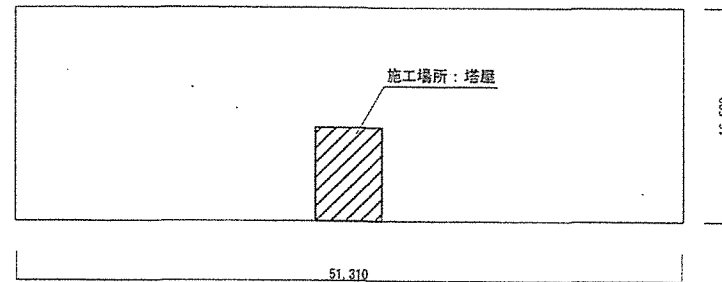
名 称	175号本部隊倉塔屋外壁補修工事	図面番号	2/4
図面名称	仕様書	縮 尺	-
陸上自衛隊久留米駐屯地業務隊管理科		令和4年12月16日	



案内図 S=1/20,000

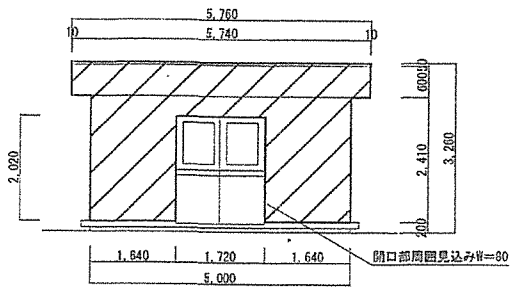


駐屯地配置図 S=1/5,000

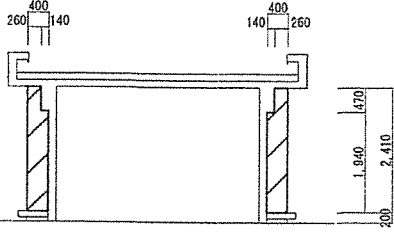


175号本部庁舎R階平面图 S=1/400

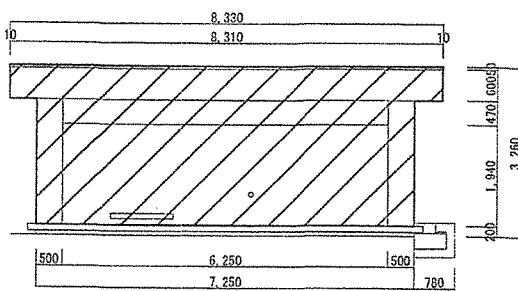
名称	175号本部庁舎塔屋防水改修工事	図面番号	3/4
図面名称	案内図・配置図・平面图	縮尺	図示
陸上自衛隊久留米駐屯地業務隊管理科		令和4年12月16日	



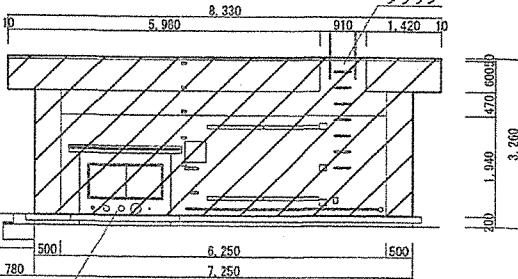
塔屋北面立面図 S=1/100



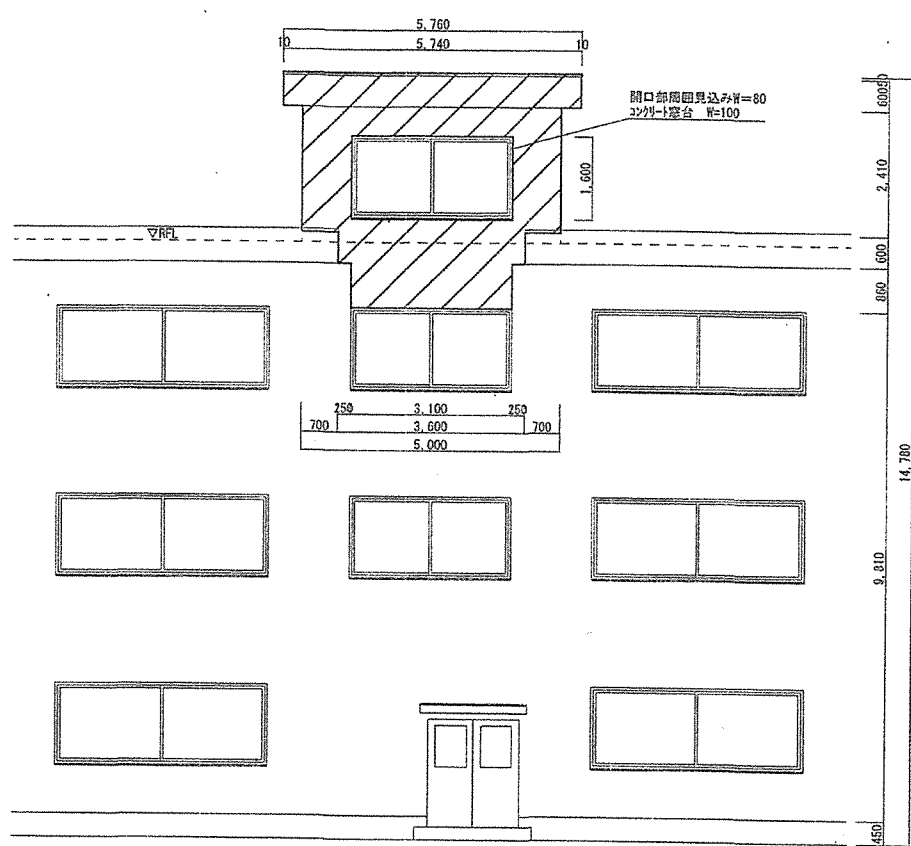
塔屋断面図 S=1/100



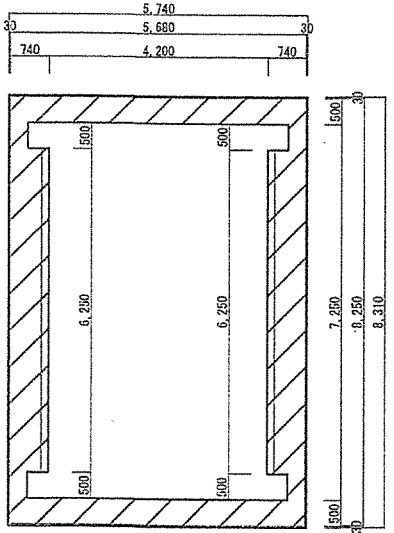
塔屋西面立面図 S=1/100



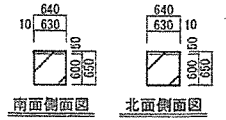
塔屋東面立面図 S=1/100



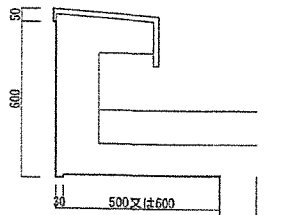
隊舎南面立面図 S=1/100



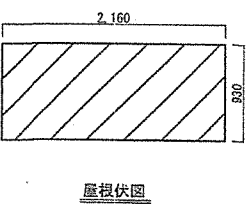
塔屋軒天見上げ図 S=1/100



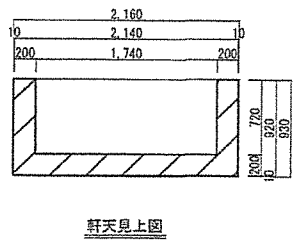
ハ'ラベ'ット部断面図 S=1/100



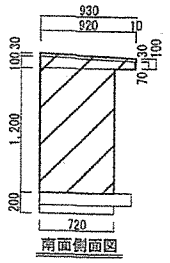
ハ'ラベ'ット部断面詳細図 S=1/20



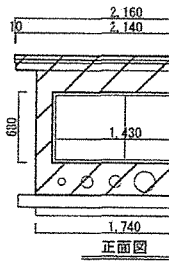
屋根伏図



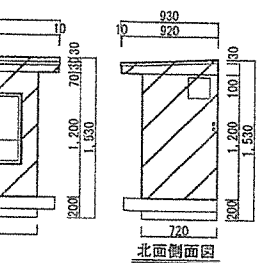
軒天見上げ図



南面断面図



正面断面図

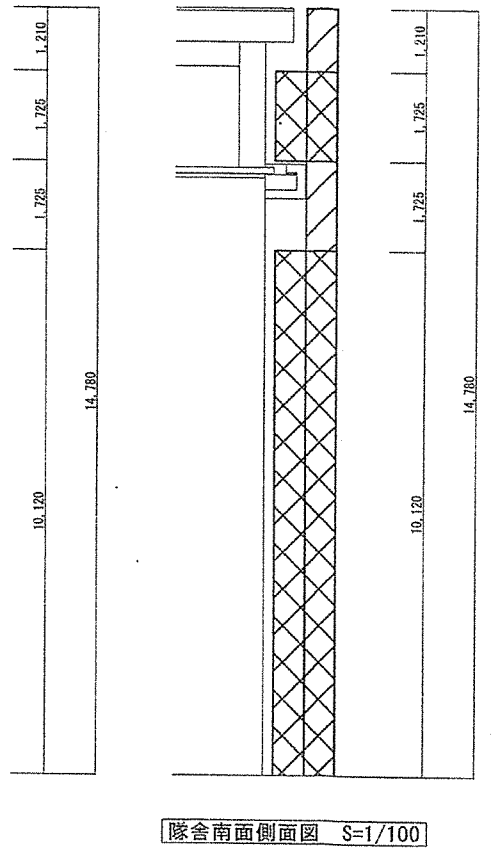
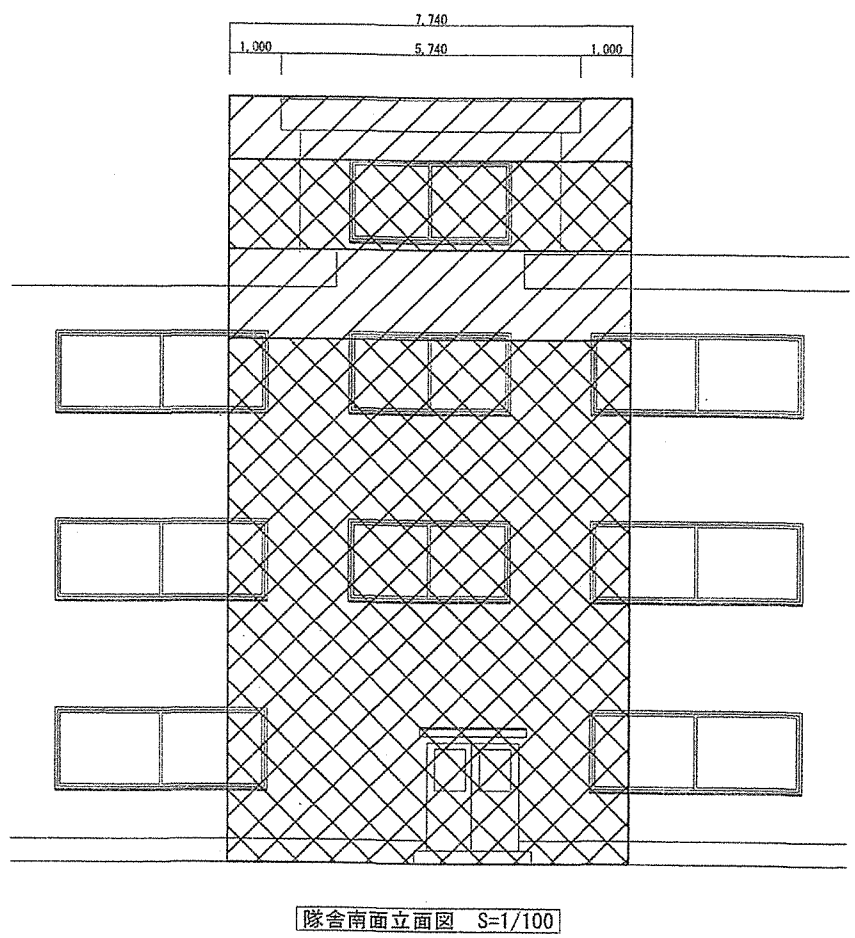
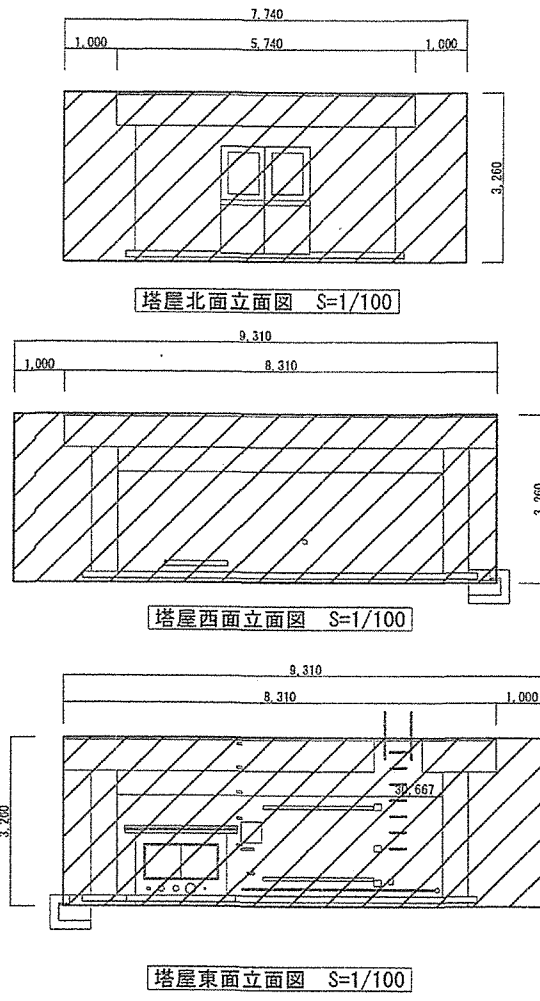


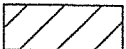

北面断面図

凡例
 : 施工範囲を示す

※欠損部の補修等については、塔屋下部防水押さえ（コンクリート部）を含む

名称	175号本部隊舎塔屋外壁補修工事	図面番号	4/4
図面名称	立面図・断面図・軒天見上げ図・詳細図	縮尺	図示
陸上自衛隊久留米駐屯地業務隊管理科		令和4年12月16日	



- 凡例
-  : 外部足場 (600枠1列)
 -  : 外部足場 (600枠2列)

名称	175号本部隊舎塔屋外壁補修工事	図面番号	1/1
図面名称	仮設計画図	縮尺	図示
陸上自衛隊久留米駐屯地業務隊管理科		令和4年12月16日	

工事数量計算書

工事件名：175号本部隊舎塔屋外壁補修工事

No	項目	摘要	計 算 式	数 量	数量計
1	改修建築工事				
(1)	仮設工事				
ア	クサビ式足場【手すり先行方式】	600枠	仮設計画図 7.74*3.26+9.31*3.26*2+7.74*14.78+7.74*10.12+7.74*1.725	292.01 m ²	292 m ²
イ	災害防止（シート・ネット類）	養生シート張り	仮設計画図 7.74*3.26+9.31*3.26*2+7.74*14.78	200.33 m ²	200 m ²
ウ	災害帽子（小幅ネット）		仮設計画図 7.74*3	23.22 m	23.2 m
エ	仮設材運搬	トラック運搬 4t積	(292.01/100*0.7+200.33/100*0.02+23.22/100*0.07) *2	4.20 日	4.2 日
オ	墨出し（外壁改修）	タイル・モルタル塗替等 一般	図番4/4 北面 5.74*0.6+5*2.41-1.72*2.02	12.02 m ²	96.1 m ²
			図番4/4 西面 8.31*0.6+7.25*2.41	22.46 m ²	
			図番4/4 東面 8.31*0.6+7.25*2.41+0.63*0.6*2-1.43*1.2	21.50 m ²	
			図番4/4 南面 5.74*0.6+5*2.41+3.6*0.6+3.1*0.86-3.1*1.6	15.36 m ²	
			図番4/4 断面 (0.4*2.41-0.14*0.47) *4	3.59 m ²	
			図番4/4 軒天 5.68*0.5*2+0.74*7.25*2-0.4*0.5*4	15.61 m ²	
			図番4/4 ハト小屋 2.16*0.93+2.14*0.92-1.74*0.72+0.72*1.2*2+1.74*1.2-1.43*0.68	5.57 m ²	
カ	養生（外壁改修）		1 (1) オより	96.10 m ²	96.1 m ²
キ	整理清掃後片付け（外壁改修）		1 (1) オより	96.10 m ²	96.1 m ²
(2)	外壁補修工事				
ア	クラック補修	0.3mm未満 刷り込み		10.00 m	10.0 m
イ	クラック補修	0.3mm以上 Uカットシーリング充填		5.00 m	5.0 m
ウ	欠損、爆裂補修	0.1m以上0.5m未満 脆弱部撤去+防錆処理+樹脂モルタル成形		10.00 か所	10.0 か所
エ	欠損、爆裂補修	0.07m程度 脆弱部撤去+防錆処理+樹脂モルタル成形		10.00 か所	10.0 か所
オ	欠損、爆裂補修	0.05m程度 脆弱部撤去+防錆処理+樹脂モルタル成形		10.00 か所	10.0 か所
カ	塗膜浮き部補修	充填工法	96.1*10%	9.61 m ²	9.6 m ²

